

第60回原子力委員会臨時会議議事録（案）

1. 日 時 1997年9月5日（金）10:00～10:30

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 伊原委員長代理、田畑委員、藤家委員、依田委員
北山東京電力株式会社原子力技術部長
（事務局等）伊藤原子力調査室長
有本廃棄物政策課長
政策課 山野
廃棄物政策課 岡谷、森山、北瀬、飯島
藤原東京電力株式会社原子力技術課長
内野電事連原子力部副長
間野動燃環境本部担当役
原子力調査室 杉本、新井、中山

4. 議 題

- （1）TRU廃棄物処分概念の取りまとめの開始について
- （2）平成10年度原子力関係経費の見積りについて
- （3）その他

5. 配布資料

- 資料1 第59回原子力委員会定例会議議事録（案）
資料2 TRU廃棄物処分概念の取りまとめの開始について
席上配布資料 原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画（抜粋）
資料3 平成10年度原子力関係経費の見積りについて（案）

6. 審議事項

- （1）TRU廃棄物処分概念の取りまとめの開始について
標記の件について、北山東京電力株式会社原子力技術部長及び事務局より資料2及び席上配布資料に基づき、報告があった。
これに対し、委員より
・TRU廃棄物処分については社会的な受容性が大切である
・原子力バックエンド対策専門部会等で、節目節目に報告してほしい
等の意見があった。
- （2）平成10年度原子力関係経費の見積りについて
標記の件について、事務局より資料3に基づき、「I. 基本的な考え方」等について説明があり、審議の結果、原案のとおり決定し、内閣総理大臣に報告することとした。
- （3）議事録の確認
事務局作成の資料1第59回原子力委員会定例会議議事録（案）に関し、委員より、
・前回委員会の動燃東海事業所ウラン廃棄物管理問題の議事の際、「多重防護」について述べたが、多重防護とは「Defense in Depth」の日本語訳であり、原子炉のような動的な施設についての異常発生の防止、異常の波及・発展の防止、異常拡大の緩和と続く一連の考え方であり、低レベル放射性廃棄物貯蔵施設のような静的な施設の場合は「多重の物理的障壁」と言うべきであった
・前回の発言のポイントは、第一の障壁が破れても第二の障壁があるから大丈夫との認識では困るということ
との発言があった上で、資料1が了承された。